

# ハイグリーン21・22

高品質 高秀品率 スタミナの強さ 総収量の多さ

## 冬春キュウリの概念を一新

### 「特性」“栽培者の声”

1. 冬春キュウリの常識を破る秀品率。
2. シーズンを通し、果色は濃緑で高温になっても退色しない。
3. 果肉が厚く、シャリ感が嬉しい。食味上々。
4. 日焼け果出にくい。
5. 100g 21~22cm終始安定良果。
6. 枝が良く出て、いつも若々しく作り易い。
7. 収量に山谷がなく、常にハイペースで多収となる。
8. 促成・半促成で人気沸騰。

OS  
交配

# ハイ・グリーン21 & ハイ・グリーン22



## 特性と栽培のポイント

### 特性

強光・乾燥に強くスタミナ抜群、際立つ高品質と秀品多収、食味抜群

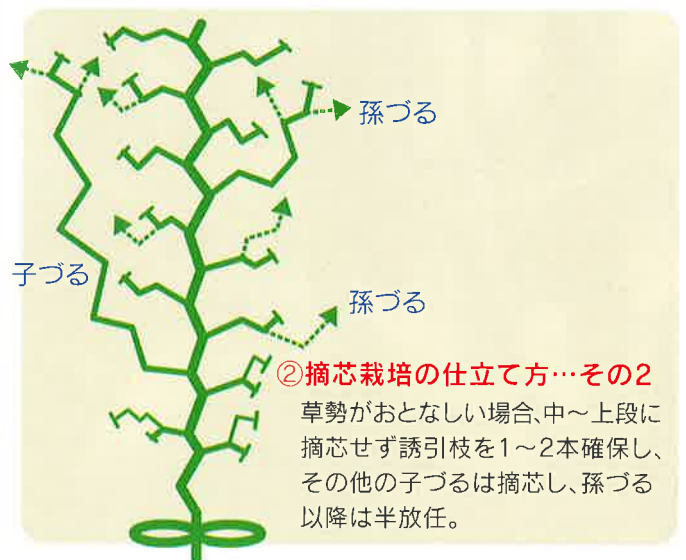
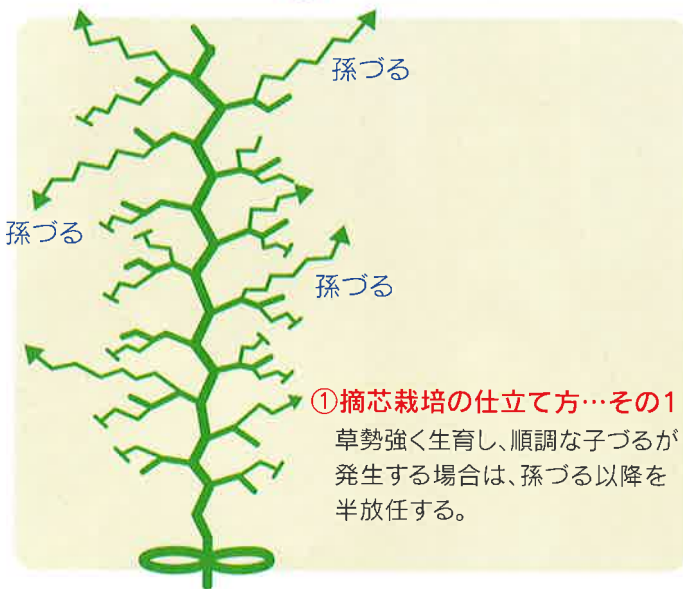
適作型・雌花率	ハウス 9月～10月播き 主枝着果率30%～50% 一節1果成りが多い 11月～3月播き 主枝着果率60%～70% 側枝連続しやすい	
茎	太く節間は主枝・側枝で中位。側枝の発生は良、孫枝も中位。果の肥大を伴いしっかり伸びる。	
葉	濃緑で厚く、大きさは中位。受光性良好。	
果実	果長	ハイ・グリーン21:100g果で21cm中心。シーズン通じて安定する。 ハイ・グリーン22:100g果で22cm中心。シーズン通じて安定する。
	果形	整った円筒形で、尻太、尻細果の発生少ない。
	果色	際立った光沢のある濃緑色で、冬の弱光線下でも夏の強光・高温期においても退色は無い。
	果皮・トゲ	滑らかな肌で果皮が薄く、イボ・トゲも適度で品位が高い。
食味	果皮薄く柔らかく果肉のしまり良いため歯切れが良く、甘み・風味を備えた食感は抜群。	
草姿・草勢	冬場の低温、春以降の強光乾燥に強く、長期間に亘り旺盛な生育をする。	
収量	バランスの取れた草姿・草勢と安定した雌花着生・1本成り中心で確実な肥大により長期に亘り秀品多収となる。	

### 栽培のポイント

- 極端な蒸し込み栽培をしない
- 徒長させない
- 過繁茂にしない

### 21と22の使い分け

- 普段旺盛に出来る場合 ⇒ ハイ・グリーン21
- 普段小柄に出来る場合 ⇒ ハイ・グリーン22



### 最適台木

- ブルームレス台木：ゆうゆう一輝(黒タイプ)・オールスター一輝・FGY・RK-3
- ブルーム台木：ウルトラ南瓜・ウルトラ9B南瓜



きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元  
株式会社 埼玉原種育成会  
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616  
TEL.0480(85)0854(代) FAX.0480(85)0407



OS交配種子 発売元  
株式会社シード  
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616  
TEL.0480(85)7211(代) FAX.0480(85)0407